

第2回有識者懇談会における主な意見について

| 項目                         | 内容  | 理事長の見解  | 今後の整理について                             |
|----------------------------|---|---|---------------------------------------|
| 大学の在り方について                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や地域から支持が得られるような大学について議論していきたい。</li> <li>・事業で旭川大学の学生が育っていく姿を見てきたので、その良さと世界から人が集まるようなことが両立できる形になってほしい、</li> <li>・公立化後の将来ビジョン、今後あるべき大学像といったものが、もう少し具体的に見えてくるとよいと思う。</li> </ul>   | —   | 4つの条件以外の課題として、今後有識者懇談会の意見を整理する中で検討する。 |
| 大学教育の専門性と社会での実践との関係について    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・認証評価では、大学で学んだことが社会に出たときに活かされているかといった調査がポイントになっていると思うが、どう分析しているか、</li> <li>・大学で学んでも社会に出てから学び直すということは意味が違うのではないか。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会に出たら基本的にはOJTなどに委ねることになると思うが、大学で学んだことがそのまま使えるかということよりは、社会人基礎力を培えるかが重要だと思う。</li> <li>・今あるものがすぐに陳腐化する時代だからこそ、考え抜く力や社会性、実践力を身に付けるカリキュラムを組んでいる。</li> </ul> | 4つの条件以外の課題として、今後有識者懇談会の意見を整理する中で検討する。 |
| 入試の倍率について                  | 一般的に2倍を下回ると厳しい、2を下回るのは危機的だと思うがどうか。  | (2倍を下回ることが) 危機的だとは思わない。倍率の勝負ではなく、大学で何を学んでどう卒業するかが重要だと思う。  | 4つの条件以外の課題として、今後有識者懇談会の意見を整理する中で検討する。 |
| 学生の確保策について                 | 中国や台湾から学生を呼んでくるのは良い考えだと思う。高齢社会の先進国である日本で学習の機会をつくることを考えても良い。   | —   | 学部・学科の見直し、ものづくり系学部等の新設に係る意見聴取の中で整理する。 |
| 学部・学科の見直しとものづくり系学部の考え方について | ものづくり系のワークショップはものづくり系だけのものなのか、福祉や経営経済も入れたものなのか。   | 経営とどう結びつけるか議論もしている。10年後の姿をどう捉えるかといったことも議論している。  |                                       |
| 地域デザイン学部(案)について            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学に専門家がない中での検討は無理がある。大卒での考え方や理念が、ものづくり大学を考える会のもとの共通していればよいと思う。世界の様々な国々の地域の状況に向けて今後の地域のあり方を考えていくことが必要だと思う。</li> <li>・中身をどこまで共有しているかが重要だと思う。大学で検討するには専門家がないと思うので、イメージしていくのが難しいと思う。外部との協力が必要と思う。</li> <li>・ワークショップにもものづくりの会や家具業界、デザイン業界なども入れてもらって検討させてもらえたらと思う。</li> </ul> | 平成29年度からアドバイザー契約を考えているほか、デザイン系の方を客員教授として迎えたり、地域政策と結びつけるために他の大学でもものづくり系のことを教えている方を迎えて、準備室に移行できるような体制を考えている。  | ものづくり系学部等の新設に係る意見聴取の中で整理する。           |